

# システム方法論によるナレッジ・マネジメント

知識科学研究プロジェクト KS2

代表者：中森義輝（知識科学研究科・教授）

## 研究概要

知識創造理論をベースに、システム科学を応用したより効果的な科学知識創造のための「場」の設計及びその評価指標の作成を試みる。現在、知識創造場を統合的に再現するシステムを構築中。また、並行して研究室のナレッジマネジメントを支える情報基盤・技術に関して調査、開発、導入、評価を実施している。

### ミスター・ナレッジ：野中郁次郎氏による「知識創造場」

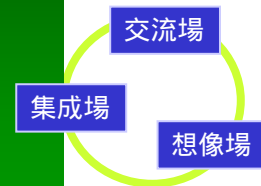
知識創造のプロセスにおいて共有され再定義される動的な文脈定義の曖昧さ（奥深さ、多様性、自由度）がもたらす功罪とは

### システム概念による「知識創造場」のデザイン

知識マネジメントに全体論的視点を導入するシステム化のための概念的枠組みを設定する

### システム概念による「知識創造場」の評価

要素の評価 = システム要素（インフラ、アクター、情報）の性能  
創発の評価 = 要素間の相互作用の結果としてのアウトプット評価



## 研究体制

学内研究者：小林俊哉（科学技術開発戦略センター助教授）  
：立瀬剛志（科学技術開発戦略センター拠点形成研究員）  
：菊池智子（知識科学研究科博士後期課程, DC）  
：Tian Jing（知識科学研究科博士後期課程）  
学外協力者：佐藤 滋（日本能率協会コンサルティング）

## 発表論文

- Systems Methodology and Mathematical Models for Knowledge Management, Y. Nakamori, Journal of Systems Science and Systems Engineering, 12(1), 49-72, 2003.
- Exploring a Sociologist Understanding for the *i*-System, Y. Nakamori, Z.C. Zhu, International Journal of Knowledge and Systems Sciences, 1(1), 1-8, 2004.
- Knowledge Management in Academia: Survey, Analysis and Perspective, J. Tian, Y. Nakamori, J. Xiang, International Journal of Management and Decision Making, in press.